2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[大泉町立西小学校] 担当教諭名[渋澤 敏雄] (6年 102名)
交流相手国[ジャマイカ]
海外学校名[Brown's Town Primary School] 担当教諭名[Kasandra Walton / 丈六 歩未(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した実施教科・時間数	総合的な学習の時間	日本・世界の文化を知ろう	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	お互いの国を象徴するもの
絵に込めたメッセージ	お互いの国を象徴する自然・建物・人物などを描きました。日本側は富士山、東京スカイツリー、大仏、お城、桜、着物などを描きました。ジャマイカ側も風景、食べ物、人物などを描いてくれました。国の花、国の木、国の花などもあり、その国らしさが伝わります。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・102名の児童が、手紙グループ、ビデオレターグループ、フォーラムグループ、絵画グループに分かれて、一人一人の得意なことをいかして交流活動に取り組むことができ、日本や自分の情報を発信することができた。	・小学生の英語の力では、伝えたいことが伝わらないという課題がる。写真だけでも雰囲気は伝わるが、やはり交流活動にとって言葉の力は大きいと感じる。 ・児童同士が一対一で親しく交流できればよいと考えたが、そこまでは言葉や環境の問題で難しいと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・取組前は意識も意欲も低かったが、自分たちの発信に対して相手校からの反応があると、児童の意欲は高まった。やはり、伝える必然性・必要性がないと児童の意欲は高まらないのだと感じた。	・昨年度に続いて2回目の取組だったので、見通しは立っていて、相手校との連絡も良く取れていたので安心して進めることができた。 ・このアートマイルの取組をいかして「自分とは違う考え方・文化を尊重する意識を身に付ける」ということを強調して指導した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・手紙グループやビデオレターグループ、フォーラムグループが自己紹介や学校紹介を作成した。	・最初に日本語で書き、それを英語に直した。児童が習った簡単な文で書くようにした。相手への質問も書いた。	総合4
テーマ学習	9月 10月	・ジャマイカを象徴するものについてインターネットで調べた。同時に日本を象徴するものについても調べた。	・ジャマイカについてインターネットで調べて、イメージをもたせた。ジャマイカの動画が見られればさらに良いと思った。	総合7
構図決定	10月	・絵画グループが構図を話し合って決め、それを写真に撮ってフォーラムにアップした。	・児童主体でアイディアを出し合い、その中から決定した。決定した構図はフォーラムで相手にも知らせた。	総合4
壁画制作	11月	・絵画グループが色塗りに取り組み始める。	・できるだけ児童主体で絵画を仕上げていこうとした。教師は混色の指導を中心にした。	総合10
鑑賞・振り返り	3月	・絵画の鑑賞を行う。 ・卒業式の式場へ展示する。	・返ってきた絵画を動画の説明ビデオレターを見ながら鑑賞し、充実感を味わった。	総合1

■学習目標（つけたい力）と成果（ついた力）について教えてください。

「目標」 先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 （A：特に重視した B：重視した C：特に重視しなかった）

「成果」 先生の手応え （5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：身につかなかった）

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	自己紹介や学校紹介を英語でおこなった。しかし英語は定型文に当てはめるパターンで自己理解というまでは深まらなかった。
異文化の理解	A	4	自分たちで調べたり、相手からの反応を受けたりして、ジャマイカという国に興味・関心をもつようになった。
コミュニケーション力（説明・共感・英語）	A	3	自分の英語で伝わること・伝わらないことを感じることができた。しかし言葉以外の方法でどう伝えるかまでは深まらなかった。
情報活用能力（情報収集・発信）	B	3	手紙・ビデオ・パソコンの良さをいかして情報収集・発信をおこなった。しかし自分の担当以外の方法では発信はできなかった。
人間関係をつくる（学級内・交流相手）	B	3	相手からの反応に喜びを感じたが、数回のやりとりと児童の英語力では一対一で親しい関係を築くことはできなかった。
協働する力（役割分担・協力）	B	3	手紙・ビデオ・パソコン・絵画の各グループがそれぞれの良さをいかして役割を果たした。
学習を追究する意欲	B	3	相手からの反応によって意欲は高まったが、数回のやりとりだけでは、その後にいかすというところまで深まらなかった。
表現力（伝えたいことを絵で表す）	B	3	絵画という形に残る物で交流を完成させたことで、達成感を味わうことができた。
作品を鑑賞する力	B	3	児童が絵画を鑑賞してそれぞれの感想をもった。感想をふくらませてさらに理解を深めることはできなかった。